



《10/27(火) 文化発表会を行いました。》

10月27日(火)午後から、津屋崎中学校では文化発表会を行いました。14時から、生徒会によるオープニング、英語スピーチ、作文発表、作品紹介・作品鑑賞、吹奏楽部演奏、エンディング、モザイクアート披露という流れで約2時間の文化発表会を持ちました。✓は、生徒会：学習文化委員長の感想です。

学習文化委員長 飯田 桃子

「今年は例年通りに『文化祭』を行うことができないことを残念に思っていました。ですが『文化発表会』という形で、スピーチや作品展示を通して、普段の授業の取り組みの成果を披露することができたことをうれしく思います。モザイク画制作では、期間が短い中での作業となりましたが、皆さんの協力のおかげで全ブロック素晴らしい作品をつくりあげることができました。当日、皆さんが楽しむ姿を見ることができてとても嬉しかったです。文化発表会成功にご尽力下さった先生方、私たちについてきてくれた皆さん、本当にありがとうございました。」

学習文化委員長 岡田大地

「私が今回の文化発表会で感じたことは、大きな達成感と無事に終わってよかったという安心感です。学習文化委員長という立場で、大きな行事の一つである文化発表会に参加し、各ブロック、学年をこえて協力している姿を見ると文化発表会を行えてよかったと感じました。クラス内で団結して時間がない中、本当に素晴らしいものになったと思っています。また、例年よりも各学年の展示品を見てまわる時間が多かったのも、他学年のことを知るいいきっかけになったと思います。生徒会のオープニングでは、私達はもちろん生徒のみんなも楽しんで見てくれていたので、時間がない中、練習して本当に良かったです。」

コロナの影響で学校のスタートが遅れ、時間や取組の日数が例年より少ない状況で、学校行事を成功させるため、生徒会の役員たちは、毎日毎日、放課後残ってよく頑張ってくれました。(↓当日の写真)



学習文化委員長の話

生徒会によるオープニング、まんざい、ダンス、など



生徒会長の話

《文化発表では、代表各1名による、英語スピーチ、作文発表が行われました。》

三年生の福田知美さんは、英語スピーチで「Graduation (卒業)」という題で、自分のことを振り返り、英語で話してくれました。内容は、一年生の時に転入してきて、困っていた時に田中賢太先生にいつも声を掛けていただいていたこと、担任の吉屋先生には、とてもお世話になったこと、悪いことをしたときは、たいへん怒られた事などを、振り返って、英語でスピーチしてくれました。全く原稿を見ないで、身振りを交えての見事な英語力に、「すごい」と圧倒されました。

また、三年生の藤吉亮羽さんは、学校代表として作文発表を「オンラインの限界」という題で、行ってくれました。藤吉さんは、「福津チャレンジ部」という市から助成を受けている地域活動団体に所属していて、子ども会の補助や、考えた企画の開催などをしていて、そこで、オンライン会議を数多く重ねてきたそうです。始めたころは良かったが、回を重ねるごとに限界を感じてきたこと、オンライン会議のいくつかの課題や限界、逆に魅力についても実体験を踏まえて、詳しく伝えてくれました。



英語スピーチ
福田さん

作文発表
藤吉さん

展示：技術

展示：国語

展示：家庭科

展示：英語

展示：美術

吹奏楽部演奏



出来上がった、4つのモザイクアートに達成感や、津屋崎の美しさを感じた瞬間でした。